



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

掲示板法話

人生に「あいにく」はない

愛憎の心は念仏の功德に浄化される

梅雨入りの頃、NHKの俳句教室を見ていたら、先生が「俳句に『あいにく』ということはありません」と言われます。「それって、お念仏の道に通じるなあ」と一瞬ひらめきました。

梅雨空を眺めて、「今日はあいにくのお天気になりました。・・・」などと挨拶します。でもお天気に本当は「良い天気」「悪い天気」などありませんね。雨が降らなければ、湯水がニュースになり、水道の給水制限がかかれば、もう大騒ぎです。

他方、集中豪雨で浸水したり、河川が氾濫する被害も近年あちこちで起ります。多すぎても少なすぎても、悪い、嘆く私たち。難儀してやっとお蔭を忘れてる私に気づきます。

「一杯の水も仏の涙かな(山頭火)。自然界のお天気はまだ単純ですが、人の心のお天気は感情が絡むためにもっと厄介です。

あるおばあちゃん、旅行に行つてかわいい孫のために沢山のお土産を買ってきました。きつと喜んでくれると思いつつ、孫に手渡し、「ばあちゃんのお土産、気に入ってくれた？」と尋



ねました。すると、「お饅頭か？今は食べないことにするよ。甘いものを食べると太るから、食べるのは少しにしません」とママが言うのだからとそっけない返事。ムカツときたおばあちゃん、「もう二度と孫などに土産なんぞ買わない。まったく可愛くないんだから・・・」と心の気圧は急低下！御機嫌斜めのどしやぶりに急変したのだそうです。可愛い善が憎らしくなるのは自己中心主義という煩惱の火が燃え盛るからです。お互い、身に覚えはありませんか？先に述べた「あいにく」とは愛憎とも書かれ、次の二和讃が心に浮かびました。

無明煩惱しげくして

塵数のごとく遍満す

愛憎違順することは

高峰岳山にことならず

(正像末和讃)

「真実に暗く欲と怒りと愚かさの煩惱は盛んで、塵の数ほど多く至る所に

満ちている。自分の意に沿う者は愛し、そぐわない者には憎しみを抱く。その愛憎の大きさや激しさは高大な峰や山岳と異ならぬほどである(意訳) 我々は一生、愛憎の狭間を揺れ動いていますが、智慧の光に遇うことによつて「あいにく」という感情は「お恥ずかしいことよ」と気づかされます。愛憎の心が念仏の功德により浄化されて、何物も妨げにならぬ自由無碍な一道に転換されて往くのです。



☆行事ご案内

門信徒会：7月15日(日)夜7時半

- ① 盂蘭盆会(お盆)の由来と意味について 世間での「施餓鬼供養」でなく、「お浄土の懐かしい人々を偲びつつ、ご本願を聞き喜ぶお盆」へ・・・。
- ② 門信徒会懇志収納巡回についての日程と相談。

- ◇絵手紙教室 7月10日(火)午前10時 34回目川崎光子先生 庫裏食堂で。作品は小杉郵便局にも展示
- ◇キッズサンガ7月7日(土)午後4時。鐘撞きは毎日夕方5時、
- ◇三重組十三日講、7月3日(火)平尾・福泉寺様で、義本弘導先生 善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。 毎日更新ブログ「住職と坊守のつれづれ日記」好評。開設丸9年11か月で 26万9千訪問、一日平均80人程、悩み相談、大歓迎！即返信
- ◇三重組コーラス7月3日名古屋別院音楽祭小杉バス8時20分
- ◇盂蘭盆会法要 8月15日(水)午前8時半、本堂、納骨堂、茶話会 お盆で帰省中のご家族とお揃いでお参り下さい。約1時間程です
- ◇秋季永代経法要 8月18(土)・19日(日)両日共午後1時半、 講師：加藤正人先生。お経開きは18日午前10時半(関係者)
- ◇一縁会テレホン法話 Ⅷ 059-354-1454お電話下さい 3分間で法話が流れます、週替わりで三重組5か寺の住職、坊守、若院が担当。新刊本『参らせてもらうでね』(自照社刊)発売中
- ◇新納骨堂：後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談下さい
- ◇法事の場所でお困りの方：本堂使用可。寺にご相談下さい。

☆写真アラカルト ☆



坊守スケッチ 『恩送り』とは？

一般的に「恩返し」という言葉はよく聞きますが、「恩送り」という言葉は耳慣れない言葉です。先日東海教区仏教婦人会総会で、「講師さんから聞かせて頂き新鮮な感動を覚えました。「恩返し」は「恩を受けた相手に直接「恩を返すギブ&テイクの意味。」

一方「恩送り」は相手を限定せずに、相手が亡くなった後でもよいという意味で、「恩の広がり」との繋がりが生まれ、終わりのない「恩の連鎖」です。「講師さんが「恩送り」を思いついたきっかけは、ある老婦人の言葉です。

「法座の最後にいつも『恩徳讃』を歌いますが、私は《身を粉にしても報ずべし》とか、《骨を砕きでも謝すべし》という歌詞を大声で歌えませんか。何故なら如来様に嘘をついているようにお恥ずかしくて仕方ありません」

「講師さんも彼女の真摯な姿勢に感心し、「恩送り」という言葉が浮かんだそうです。

シルバー世代の私達は、親が死んだ年齢に近づいてくると、「親孝行したい時に親はなし」という後悔の念が生まれます。生存中は「恩返し」が少しも出来なかったのに、今頃になって親の有難さがひしひしと伝わり感謝します。親に直接お礼をいう事が出来なかったけれども、今の私があるのは、親や周囲の人々のお育てのおかげ！

最近「年老いたから面倒くさい」



とか「お互いさま」と言い訳して、「先祖や親戚のご縁を平気で切ります。自分中心で寂しい時代になりました。思えば年忌法要を勤めるのは、「先祖の為ではなく、巡り巡って私の為、そして子や孫に「先祖の「恩」を知らしめ、仏様の教えを聞かせて頂く『恩送り』の機会ではないでしょうか？」

住職の学生時代の恩師が昨年秋にご逝去。教え子代表して全国学会で恩師の偉大な功績を世の人々に知らしめる追悼講演の大役が、住職に回ってきました。寺と学者の二足の草鞋を履く人生を切り開いて下さった恩師。たとえ姿無くとも、その姿を二人の息子共々に見させて頂き、究極の『恩送り』をさせて頂いたなあと感じました。

寄稿

- 横断中旗を引継ぎ卒業す 館賢二
- 青い空津軽三味線薄暑かな 釋妙水
- 新緑や吐いて吸うて喜寿の友 同
- 白い服車内見回る車掌さん 同
- 赤白帽運動場は薄暑かな 同
- 追悼の師恩新たに若葉かな 釋清風
- 新緑の車窓飛ぶ飛ぶ水田かな 同
- 旧友ありて語りひ尽きじ走馬燈 同
- 時鳥樹々揺らしても姿なし 同



☆若院夫婦の「育自な毎日」その43

5月末に一年生の長男の運動会がありました。前日からの場所取りや、観覧用テントの設営など、初めての経験で心配しましたが、「近所さんと協力して何とか無事に設営できました。幼稚園の運動会との違いは、規模の大きさと、高学年のテキパキとした働きに感動しました。前日の準備から終了後の片づけまで、高学年が自主的に活躍。開会式の児童会長挨拶や紅白応援団長の宣誓等、その親御さん達は我が子の晴れ舞台を、さぞかし誇らしく見守られたことでしょう。

高学年の場内放送を聞いて、私の小6時代を思い出しました。放送委員の私はマイク越しに玉の数を一生懸命数えました。長男の玉入れでも、当時にタイムスリップして応援しました。

5月になってからは運動会の練習が続ぎ、長男は真っ黒に日焼けしました。頑張つて練習した甲斐があり、50m走では、我が家の家系には珍しく上出来の2等賞！ダンスの振り付けもきちんと覚えて見事な演技でした。

プログラムの最後は5、6年生による組体操。さすが上級生らしく信頼と協力で作り上げた美しい演技に見えました。長男もあと4年もすればこんな素晴らしい演技を見せてくれるのかと、未来に夢を馳せました。

今年は赤組に軍配が上がり、白組の長男は悔しがりました。来年も親子揃って運動会を楽しみたいと思います。

(潤爾&由佳)

ホットニュース

- ◇三重組仏教婦人会副会長に森しず子様(東坂部)が選出されました
- ◇2019年度9月22日(日)小杉町追悼法要にNHK悩み相談『シブ5時』に出演中の釈徹宗先生のご出講が内定。一年以上先ですがお楽しみに。
- ◇6/21全国布教同志会広島大会(住職が会長)に日帰り聴聞。呉の法友と嬉しい再会。津の法友数名も参加。

善正寺・平成30年度今様の主な行事

- ※6月16日(土)午前・午後『三重組仏教講習会』北畠晃融師・善正寺於
- ※8月15日(水)午前8時半『孟蘭盆会(うらぼんえ)法要』善正寺本堂
- ※8月18(土)19(日)『秋季永代経』(加藤正人先生、桑名)
- ※9月23日午前・午後『小杉町追悼法要』(光念寺様於)
- ※11月2日・3日『報恩講』守快信先生(滋賀)2日11時お非時あり
- ※11月23日午前『秋勧進』
- ※12月1日(土)午前お内仏報恩講

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」二九五号をお届けします。◇一年の半分が過ぎました。当たり前のように毎日飲むお水ですが、「仏様の涙」と詠んだ山頭火の句に胸を衝かれる思い。これは三月往生の素懐を遂げた元総会さんの遺稿ノートから知った法句。亡き先人に心より感謝の念を覚える。同時に残り少なくなっていくある人生をお浄土の智慧を賜って生きなければ、とかみ締める次第。

先日とても驚いたことがあります。子供達が食前・食後の言葉
を暗記でスラスラ言えたこと。理由は夕方庫裡の食堂は、
書道教室や鐘つきに来た子供達で臨時のミニ学童保育
室に変わります。その時に頂き物のお菓子や飲み物を振る
舞いますが直前に必ずしなければならぬ作法があります。
それは戸棚に張り付けた食前・食後の言葉を全員で合掌
して唱えることです。「多くのいのち」皆様のおかげ」「ご恩を喜ぶ」
「尊いお恵み」「御恩報謝」等、大人でさえ普段の生活であま
り使わない言葉が子供の口からすらすら出てきます。やはり
家庭教育じつげの大切さを痛感しました。ところで私は日
ヘレンケラーはどう教育されたか？サリバン先生の記録という
本を読みました。サリバン先生が視覚と聴覚を失った
ヘレンなどのような言葉を覚えさせたのが興味がありました。
特に「愛や「神」や「靈魂」等、形もなく目に見えないものを如何
に理解させたのか不思議でした。先生との絶対的信頼関係
と絶やまぬ努力の繰り返しは勿論のこと、愛情をもて子供を
教育することの尊さを学びました。言葉は単なる知識
の羅列ではなく、人と人を結びつけ、互いに生かす合う力
を持っています。現在はスマホで顔も見えない遠く離れ
た相手とも容易にコミュニケーションが取れる時代ですが、身
近な人と交わす会話こそが生きる力を分ち合います。子
供達が仏の子供として成長し、優しい言葉が発せられるよ
うに私もお手伝いしたいと思っております。三重組仏教講習会では
ようこそお参り下さいました。合掌

平成三十年七月

善正寺坊守拝